

Sesshu 雪舟没後 500年 Master of Ink and Brush: 500th Anniversary

「拙宗」を改め「雪舟」と号した彼は、48歳で中国（明）へ渡航して港町の寧波に到着します。そして、郊外にある天童山景德寺に参禅し、修行僧としては最高位にあたる「首座（第一座、座元ともいう）」という位を授けられました。

中国の画風を体得

雪舟はこれを誇りとし、終生この称号を用いています。さらに、首都北京を訪ね、礼部院の壁画を制作して賞賛されたという記事も伝えています。

また、彼は中国のさまざまな名勝や都市、村落、そこで目にした人々や生物・器物を事細かくスケッチしたようです。鎮江市の金山寺や甘露寺など北京からの帰途に見た風景を描いたとされる「唐土勝景図巻」。また、王や僧、道士などさまざまな身分の中国人や南蛮・天竺といった外国人を描いた「国々人物図巻」などの写しをみるることができます。

は、当時の中国には優れた画師がいなくて、帰国後改めて日本で師事した如拙や周文の偉大さが分かったとするのですが、実際には当時の明画や、それに先行する宋元画の影響を相当受け、学ぶところが多かったようです。何しろ、雪舟が明に滞在中に制作した「四季山水図」（重文。東京国立博物館蔵）は、かつては日本人の作ではなく、明画と理解されていたほど中国的だったのです。

雪舟が中国の古典をしっかりと学び、自分のものとして

いたことは、「倣玉澗山水図」（下の写真。重文。岡山県立美術館蔵）の存在によっても分かります。玉澗は宋末元初（13世紀）の画僧で、草体の山水画を得意としており、この絵は、玉澗の画風を雪舟がアレンジしたものです。雪舟が弟子に、「玉澗」と



「倣玉澗山水図」重要文化財 岡山県立美術館蔵

文/岡山県立美術館学芸課長 守安 敬

2006 NOVEMBER
平成18年11月1日 No.20

広報 総社 Soja City

2006 11 No.20

平成18年11月1日発行（毎月1回1日発行）

発行/総社市役所 編集/企画課秘書広報係
〒710-0102 岡山県総社市中央二丁目一番一号

電話 0866 (0) 801-4 FAX 0866 (0) 804-79
Eメール kikaku@city.soja.okayama.jp

総社 広報

[輝いている人] 11p
安本絵美さん

[まちの話題] 14p
総社中央小学校の墨彩画体験
れとろーど06ほか

[市政トピックス] 8~9p
故橋本龍太郎氏を名誉市民に
納期限内に、市税は納めてください

[地産地食] 27p
富有ガキ

特集Ⅰ 子どもの読書活動 2p

子どもたちを本の世界へいざなう

特集Ⅱ ごみ収集有料化 6p

燃やせるごみ 693t 減った 燃やせないごみ

●シリーズ● 「やっぱりええなあ。総社のまち」「介護保険」「健康アドバイス」「市長室から」 12p

とじ込みの 救急医療拠点施設アンケート に、ご協力ください!